

議員発議で 7件の意見書提出

<要旨掲載>

意見書を、内閣総理大臣、衆・参両院議長、ほか関係大臣に提出しました。

品目横断的経営安定対策の見直しと、多様な担い手の育成を求める意見書

○ 品目横断対策を抜本的に見直し、農業をやりたい人、続けたい人をすべて対象とする。

○ 農産物の輸入を規制し、価格保障政策を復活・実現させること。

○ きめ細かな支援策を講じ、多様な農業の担い手を育成すること。

日豪をはじめとするEPA路線を転換し自給率の向上と食糧主権にもとづく農政を求める意見書

○ 日豪EPA交渉を中止し、EPA路線を転換すること。

○ 食糧主権にもとづいて、国内生産を拡大し、食糧自給率を向上させる施策を強めること。

保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書

歯科診療報酬が抑制され、年々、保険給付範囲が縮小されている。事実上歯周病の治療、定期的管理も保険で行えなくなった。

歯科医師、衛生士、技工士等の歯科医療確保さえ危ぶまれる状況に陥っている。

保険で歯周病の治療・管理が十分にできるとともに、保険でより良く噛める入れ歯の提供ができるよう求める。

反対討論

■今、世界は技術革新により、いかに良いものを納めるかが主な流れとなっている。

そうした低関税率二国間貿易を無視した意見書に反対する。
(中原明議員)

賛成討論

■世界の流れ等も重要ではあるが、日野町等山間地域は、小規模農家が多く、農地保全や自給率向上という考えで、日野町の農業を守る立場から賛成する。(竹永明文議員)



日野病院でも看護師不足

国立病院の廃止・縮小・民営化に反対し、地域医療と国立病院の充実を求める意見書

○ 国立病院の廃止・縮小・民営化を行わないこと。

○ 地域の実情と地域住民の要望に応じて、国立病院の機能強化を図ること。

○ 医療の複雑高度化に対応し安全でゆきとどいた医療・看護を提供するため、国立病院の医師・看護師をはじめ必要な人員を確保すること。

原子力に依存しないエネルギー政策の転換を求める意見書

日本が世界一の地震国であることを十分に踏まえた上で、原子力発電を基幹電源とする「エネルギー基本計画」を見直し、原子力を用いないエネルギー政策への転換を求める。

JR不採用問題の解決に向けた協議を求める意見書

国においては、すみやかに人道的立場から一日も早いJR不採用問題の解決に向けた協議を開始されるよう強く求めるもの。

道路特定財源の確保に関する意見書

一、道路特定財源については、暫定税率を向こう十年間維持し、地方の道路整備の実態を踏まえ、硬直的で一律な予算シーリングの設定をやめ、受益者負担という制度の趣旨にのっとり、全て道路整備に充当すること。

二、遅れている地方の道路整備に重点投資するため、道路特定財源の傾斜配分を行うこと。あわせて、地方道路整備臨時交付金の継続及び交付割合の引き上げなどにより、地方の道路財源措置を充実すること。

三、今後増大する老朽化橋梁など、道路施設の維持管理・補修に、道路特定財源を重点的に配分すること。